

お薬談話

長寿化で増える 関節のトラブル

「老化は足腰から」などと言われますが、長寿化に伴い足の関節のトラブルが増えています。

WHO世界保健機構は、二〇〇一年から二〇一〇年を『運動器の二〇年』と『e Boneand Joint Decade』として、骨・関節疾患の予防と治療対策に関する世界的な取り組みを展開しています。その中で、最も身近な症状が「ひざの痛み」です。

老化と共に足腰の筋力が衰え、関節部を支えきれず、関節部を支えきれず、軟骨が磨耗し、その軟骨が磨耗したそのクズを溶かそうとする酵素の影響で、炎症が起きて、痛むのです。このとき、冷えや浮腫などで、血液の流れが悪くなると、さらに痛みが強くなります。ひざの痛みには用いられる『防己黄耆湯』(ぼういおうきとう)など漢方処方の方の多くは、余分な水分を尿として排泄させたりして、からだを温める生薬が組み込まれた処方になっています。そして、血液の流れが良くなると、つらい痛みが緩和されて、楽になっていきます。

ひざの痛みから解放

も症状が緩和せず、さらにも悪化すると手術をして人工関節に取り替えることが求められるでしょう。ひざの痛みやしびれの根本解決は炎症を鎮めて痛みを和らげると共に軟



ける必要があります。炎症を強くする飲食物の代表は、「アルコール」、「精製白糖」、「もち米」の三点です。「アルコール」は、花粉症の人がお酒を飲んだ翌日にはその症状が激しく

のある人で甘いものが欲しいときは、精製されていない黒砂糖や人工甘味料をお勧めします。厄介な「もち米」少量で痛み長引く

食へて痛みが増した人が、その餃子の内容表示を見たら、「もち米」が入っていたので、納得したとの話もあります。ひざの痛みに限らず、皮膚病にしても、〇〇

「防己黄耆湯」は、「炎症を鎮める働き」、「冷えと」、「余剰水分の排泄により血液の流れを良くする働き」により、ひざの痛みを緩和します。

「防己黄耆湯」は、「炎症を鎮める働き」、「冷えと」、「余剰水分の排泄により血液の流れを良くする働き」により、ひざの痛みを緩和します。

これによって、ひざの痛みから解放されたという、数多くの実績があるのです。(永井達夫 東洋漢方製薬株式会社代表取締役社長)



慢性的